



水市の道しるべ
(三和町)

三和町を流れる川浦川沿いに、「是よりみき〔 〕／さくば道
／古れよ里ひだりなこやみち」と刻まれた道しるべがあります。
(〔 〕は文字を抹消した個所)

かつて関や加治田から飛騨方面へ向かう際、険しい飛騨川沿いの道を避け、川浦を経由していたといわれ、この辺りはその中継地であったとされます。この道しるべは、以前は少し東の橋のそばにあったとされ、いまは元位置をとどめていないと思われていますが、それでもかつてここを行き交う人々は、この道しるべに従って、名古屋を目指したのでしょう。